

2023年10月4日15:00~MF委員会#7



1 / 6 2023/10/01 14:12

shiroi36 commented on Jul 4 • edited -

Owner

- 1)荒木が送ったディテール相馬事務所棟_スプリットティ検討2023年3月29日.pdf
- 2)杉本先生のレポート2023年6月27日
- 3)2)のFEM解析結果エクセル
- 4)舘石さんの卒論梗概ba03200078.pdf
- 5)聲高先生の返信時にもらった資料araki+koetaka
- 6)FEMと手計算との比較結果ST計算2023年7月3日

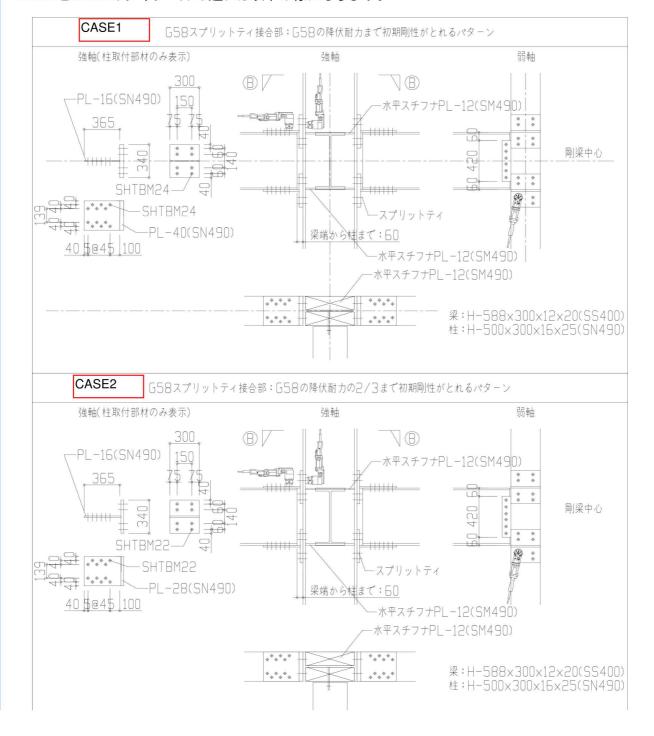
7)2023年7月3日の資料:https://drive.google.com/drive/u/1/folders/11zdal3akpVMNuhODn4u4wlD-

63S8xFtc

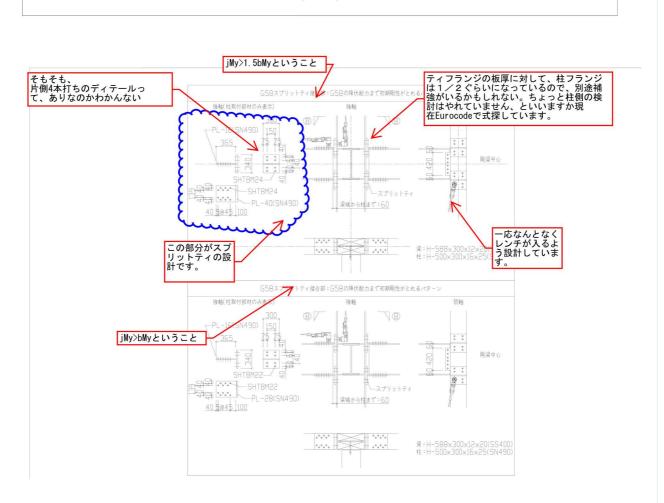
8)対象建物の構造図:00_20161109アイ・テック相馬工場構造図.pdf

2023年8月18日

CASE1とCASE2のディテールの違いは以下の様になります。



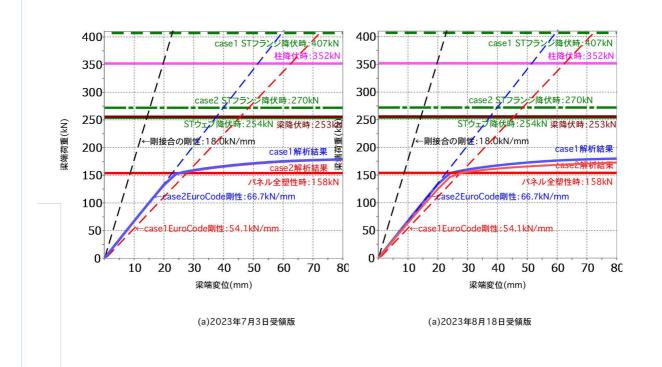
2/6



package webclamp_23exp.exp20230701

(a)2023年7月3日受領データから作成しましたFEMとの比較です。これは、ボルトがF10TorSHTBの違いだけでしたので、上記の接合部ディテールの違いを十分に反映されていません。

(b)2023年8月18日_杉本先生から受領しましたデータを使用しました。FEMモデルはスプリットティの板厚やボルト径などモデル反映していただきました



3 / 6 2023/10/01 14:12

case1のST接合部の剛性Kと、STの短期許容耐力Fの計算結果です。

leff = 313.125

m = 75.0

k4 = 10.4375

k6 = 30.72371415566682

k10 = 37.42845155292209

K = 1.3700789620601906E11

K/Mby = 151.82612611482608

Lb = 80.0>Lb2 = 35.32497257564787

F = 2496000.0

case2のST接合部の剛性Kと、STの短期許容耐力Fの計算結果です。

leff = 313.125

m = 75.0

k4 = 10.4375

k6 = 10.538233955393718

k10 = 45.90281794226294

K = 9.998953592115178E10

K/Mby = 110.80400700482245

F = 1658025.3164556962

#4の図は以下となります

eurocodeでの剛性計算結果とFEMを比較したものです。

ST計算2023年7月3日

---2023年7月21日---

2023年7月4日MF委員会提出版

グラフ類一覧_20230716.xlsx

伊山先生, 聲高先生, 荒木様

お世話になっております. 岩手大学の杉本です.

先日の打ち合わせから時間が経ちましたが、継手フランジ板厚を40mmから28mmに変更した解析の結果をお送りいたします. 変更したのはExcelシートのCase 1になります.

よろしくお願いいたします.

杉本悠真(Sugimoto Yuma)

Q

Q

Q

4/6



5 / 6 2023/10/01 14:12

Development	\$
Create a branch for this issue or link a pull request.	
1 participant	
Pin issue (i)	

6 / 6